

山梨労働局発表
令和7年11月28日

【照会先】

山梨労働局 労働基準部 健康安全課
健康安全課長 伊勢井 裕之
(電話) 055 - 225 - 2855

令和7年度 厚生労働省山梨労働局 年末年始無災害運動の推進について

厚生労働省山梨労働局(局長 岩崎充)では、年末年始において労働災害を防止するための取組を促進し、労使とも無災害で明るい新年を迎えることができるよう関係団体・機関等と連携して、年末年始無災害運動を推進します。

また、年末年始は、事業場内外の清掃や機械設備の保守点検などの作業が多くなり、積雪や凍結による転倒等の危険も増え、労働災害が増加する傾向があることから、事業場においては、作業手順や交通ルールの遵守や安全衛生対策の徹底など、労使一体となって労働災害防止に取り組むことが一層重要となります。

そのため、令和7年12月1日から令和8年1月31日までを年末年始無災害運動実施期間とし、労働災害防止への一層の取組を促すため、労働基準監督署による建設現場の県下一斉監督指導を実施し、労働災害の防止について注意喚起を行います。

令和7年度 厚生労働省山梨労働局 年末年始無災害運動の概要

期 間:令和7年12月1日～令和8年1月31日

標 語:『「年末」感謝の総点検 「年始」も笑顔で 無事故の発進』

山梨労働局の主な実施事項

建設現場の県下一斉監督指導の実施 :12月1日(月)～12月15日(月)

各災害防止団体との合同パトロールの実施等

関係団体等を通じた周知広報、啓発活動の実施

(実施要領は資料1のとおり。)

資料目録

- 資料1 令和7年度 厚生労働省山梨労働局年末年始無災害運動実施要領
(ページ番号1～4)
- 資料2 令和7年度 厚生労働省山梨労働局年末年始無災害運動リーフレット
(ページ番号5～6)
- 資料3 令和7年10月末労働災害発生状況(休業4日以上)
(ページ番号7)
- 資料4 令和7年における死亡災害一覧(令和7年10月31日現在)
(ページ番号8)
- 資料5 令和6年における死亡災害一覧(確定値)
(ページ番号9)

令和 7 年度 厚生労働省山梨労働局 年末年始無災害運動実施要領

1 趣旨

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取り組み促進を図る趣旨で、厚生労働省山梨労働局・各労働基準監督署が主唱する運動である。

職場の安全と健康を確保するためには、経営者、労働者が一丸となって安全衛生活動を推進し、災害のない職場環境を整えるためにも、一つひとつの作業を丁寧に確認し、次の作業に備えること、そして体調管理を万全にし、無理をしないことが大切である。

山梨県内における、令和 7 年の休業 4 日以上之死傷者数（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）は、10 月末日までで 694 人であり、令和 6 年の同時期と比較して 6.6% の増加となっている。また、令和 7 年の死亡者数は、10 月末日現在で 6 人となっており、既に令和 6 年の 5 人を超えてしまっている。

こうした状況の中で、特に年末年始は大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害、積雪や凍結による転倒等の危険が増す。また、多忙による焦りや疲労からミスやエラーが起こりやすくなる。そのため各事業場においては、非定常作業における安全確認の徹底、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、安全衛生保護具の点検の実施が一層重要となる。また、転倒・腰痛災害予防のため、身体機能の維持向上のための取り組みや、感染症予防を含めた労働者の健康管理にも全員で取り組むことが大切である。

自身の安全・健康の確保はもちろん、周囲の仲間とも声を掛け合って、皆で力を合わせて無事に一年を締めくくり、新年を明るい笑顔でスタートできるよう、本年度の年末年始無災害運動を展開することとする。

2 実施期間

令和 7 年 12 月 1 日から令和 8 年 1 月 31 日まで

3 運動標語

『 「年末」感謝の総点検 「年始」も笑顔で 無事故の発進 』

4 主唱者

厚生労働省山梨労働局、甲府・都留・鯉沢労働基準監督署

5 推進団体

一般社団法人山梨県労働基準協会連合会
甲府・都留・峡南・山梨労働基準協会
建設業労働災害防止協会山梨県支部
陸上貨物運送事業労働災害防止協会山梨県支部
林業・木材製造業労働災害防止協会山梨県支部
公益社団法人ボイラ・クレーン安全協会甲信事務所
一般社団法人山梨県鉄構溶接協会
公益社団法人建設荷役車両安全技術協会山梨県支部
一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会山梨支部
独立行政法人労働者健康安全機構山梨産業保健総合支援センター

6 協力機関

国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所
国土交通省関東地方整備局富士川砂防事務所
国土交通省関東運輸局山梨運輸支局
林野庁関東森林管理局山梨森林管理事務所
山梨県

7 後援団体

日本労働組合総連合会山梨県連合会
山梨県経営者協会

8 実施者

山梨県内の各事業場

9 主唱者の実施事項

厚生労働省山梨労働局の実施事項
ア 報道機関及びホームページ等による広報
イ リーフレットの制作・配布
ウ 局庁舎への懸垂幕の設置

各労働基準監督署の実施事項

- ア 建設現場一斉監督指導の実施（12月1日から12月15日まで）
- イ 各災害防止団体等が行うパトロールへの協力
- ウ 集団指導等における事業場の実施事項についての周知徹底
- エ リーフレット等の配布

10 各推進団体の実施事項

- 各種会議等における周知広報
- リーフレット等の配布
- ポスターの頒布
- 事業場に対する巡回指導

11 事業場の実施事項

年未年始に実施する事項

- 経営トップによる安全衛生方針の決意表明
- 安全衛生パトロールの実施
- 機械設備に係る一斉検査及び作業前点検の実施
- 年未時期の大掃除等を契機とした5Sの徹底、掲示や旗の揚げ替え
- 年始時期の作業再開時の安全確認の徹底
- 年未年始無災害運動用ポスター、のぼり等の掲示

年未年始に実施状況を確認する事項

- KY（危険予知）活動を活用した、非定常作業における労働災害防止対策の徹底
- 安全保護具・労働衛生保護具、安全標識・表示等の点検と整備・更新
- 化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
- 転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
- 火気の点検、確認など火気管理の徹底
- 交通労働災害防止対策の推進
- 働く全ての人々が過重労働をしない・させない職場環境づくり
- 高齢労働者を含めた身体機能の維持向上のための健康づくり、健康的な生活習慣（睡眠、食事、運動等）に関する健康指導などの実施
- 感染症拡大防止対策の徹底
- 職場のハラスメント防止につながる取り組みの推進

自然災害等に伴う復旧・復興工事等における労働災害防止対策の推進
安全衛生旗の掲揚、その他安全衛生意識高揚のための活動の実施



厚生労働省 山梨労働局

令和7年度 年末年始無災害運動



実施期間

令和7年

12/1



令和8年

1/31

標語

『「年末」感謝の総点検 「年始」も笑顔で 無事故の発進』

趣旨

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるよう、事業場等の取り組み促進を図る趣旨で、厚生労働省山梨労働局及び各労働基準監督署が主唱する運動です。

職場の安全と健康を確保するためには、経営者、労働者が一丸となって安全衛生活動を推進し、災害のない職場環境を整えるため、一つひとつの作業を丁寧に確認し次の作業に備えること、そして体調管理を万全にし、無理をしないことが大切です。

山梨県内の令和7年の休業4日以上死傷者数（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除く）は、10月末日までで694人であり、令和6年の同時期と比較して43人、6.6%の増加となっています。

また、死亡者数についても、10月末日現在で6人と令和6年と比較して1人の増加となっています。

こうした状況の中で、特に年末年始は大掃除や機械設備の保守点検・再稼働等の作業が多くなるほか、物流等の増加に伴う交通・荷役作業時の災害及び積雪や凍結による転倒等の危険が増加し、多忙による焦りや疲労からミスやエラーが起こりやすくなります。各事業場においては、非定常作業における安全確認の徹底、作業前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守及び安全衛生保護具の点検の実施が一層重要となります。

このような状況を踏まえ、本年度の年末年始無災害運動は、

『「年末」感謝の総点検 「年始」も笑顔で 無事故の発進』を標語として展開します。



事業場の主な実施事項

(1) 年末年始に実施する事項

経営トップによる安全衛生方針の決意表明
安全衛生パトロールの実施
機械設備に係る一斉検査及び作業前点検の実施
年末時期の大掃除等を契機とした5Sの徹底、掲示や旗の掲げ替え
年始時期の作業再開時の安全確認の徹底

(2) 年末年始に実施状況を確認する事項

KY（危険予知）活動を活用した非定常作業における労働災害防止対策の徹底
フルハーネス型墜落制止用器具を含めた安全・労働衛生保護具の点検と整備
化学物質のリスクアセスメントの実施を含めた化学物質管理の徹底
転倒、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ災害防止や腰痛予防対策の徹底
火気の点検、確認など火気管理の徹底
交通労働災害防止対策の推進
働くすべての人が過重労働をしない・させない職場環境づくり
高年齢労働者を含めた身体機能の維持向上のための健康づくり、健康的な生活習慣（睡眠、食生活、運動等）に関する健康指導などの実施
感染症拡大防止対策の徹底
職場のハラスメント防止につながる取り組みの推進
その他安全衛生意識高揚のための活動の実施



【主唱者】 厚生労働省 山梨労働局、甲府・都留・諏訪労働基準監督署

【推進団体】 (一社)山梨県労働基準協会連合会、甲府・都留・峡南・山梨労働基準協会
建設業労働災害防止協会山梨県支部、陸上貨物運送事業労働災害防止協会山梨県支部
林業・木材製造業労働災害防止協会山梨県支部、(公社)ボイラ・クレーン安全協会甲信事務所
(一社)山梨県鉄構溶接協会、(公社)建設荷役車両安全技術協会山梨県支部
(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会 山梨支部、(独)労働者健康安全機構 山梨産業保健総合支援センター

【協力機関】 国土交通省甲府河川国道事務所、国土交通省富士川砂防事務所、国土交通省関東運輸局山梨運輸支局
林野庁関東森林管理局山梨森林管理事務所、山梨県

【後援団体】 日本労働組合総連合会 山梨県連合会、山梨県経営者協会

〈詳しい実施要領については、山梨労働局ホームページ「年末年始無災害運動」を検索してご覧ください。〉

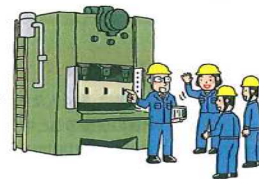


年末年始こそ安全衛生活動を強化しましょう！



トップ自ら安全衛生パトロール

経営トップ自らが安全衛生パトロールを行い、職場状況を直接点検するとともに、従業員との対話の中から、多くの体験や情報を得て、職場内の安全衛生上の問題点を把握して改善し、安全・快適職場につなげましょう。



組織的な安全衛生活動への取組

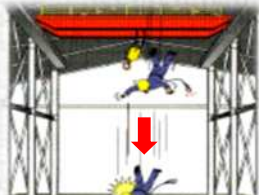
年末年始に行う設備の点検等の作業は、事前に計画できるものが多く、各部門担当者や協力会社等の関係者による作業計画を作成し、その作業方法に基づき、リスクアセスメントを実施して、リスク低減措置、残留リスク対応の情報共有、周知徹底を組織的・効率的に展開させましょう。



非定常作業で発生しやすい災害



転倒災害



墜落災害



はさまれ・巻き込まれ災害



腰痛 (無理な姿勢)

年末年始には、設備の点検整備、清掃等のメンテナンスや設備の停止・立ち上げ等の非定常作業が多くなり、反復・継続して行われることが少ないことから、少しの気の緩みが災害発生につながります。各作業に応じたリスクアセスメント、KY活動等により労働災害の防止に努めましょう。

「職場」での転倒災害防止のポイント 転倒災害の典型的なパターンは以下の3つです。



滑り

- ・床が滑りやすい素材である
- ・床に水や油類が飛散している
- ・路面等が凍結している



つまづき

- ・床の凹凸や段差がある
- ・床に配線、ホース類が飛散
- ・床に荷物や商品などが放置



踏み外し

- ・大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業
- ・通路が暗くて、踏み外した

転倒災害に繋がるメカニズムを理解しましょう！

滑り

- ・急いでいるときほど
- ・歩幅が大きいほど
- ・急激な方向変換ほど
- ・重いものを持つほど

つまづき

- ・小さな段差ほど
- ・降りる方向の段差は見にくい
- ・障害物で隠れた段差は見えない

踏み外し

- ・急いでいる時
- ・降りるとき
- ・階段の出入口
- ・照明が暗いほど

年末年始の交通事故対策の徹底

年末年始は何かと慌ただしく、疲労の蓄積や集中力の欠如から、不安全な運転となりがちです。また、積雪や凍結等により交通事故が多発します。社内ミーティング等で安全運転について話し合い、交通労働災害防止に努めましょう。



季節性インフルエンザ等の感染症流行に備えた対応

今年の冬は季節性インフルエンザが大流行する可能性があり、より多くの発熱患者等が生じる可能性があります！

発熱外来（診療・検査医療機関）等にかかりづらくなる場合に備え、事前の準備が重要です！

また、感染状況や一人ひとりの重症化リスク等に応じた外来受診・療養への協力をお願いします。



令和 7 年における労働災害発生状況

(10月末時点)
山梨労働局

業種	年別	令和 7 年 1月～ 10 月				令和 6 年 1月～ 10 月				増減件数			増減率		
		死亡	コロナ	コロナ 除く	全体	死亡	コロナ	コロナ 除く	全体	死亡	コロナ 除く	全体	コロナ	コロナ 除く	全体
全 産 業		6	17	694	711	5	33	651	684	1	43	27	-48.5%	6.6%	4.0%
1 製 造 業		1		169	169	1		172	172		-3	-3		-1.7%	-1.7%
	食 料 品			65	65	1		58	58	-1	7	7		12.1%	12.1%
	木 材 ・ 木 製 品			1	1			6	6		-5	-5		-83.3%	-83.3%
	家 具 ・ 装 備 品	1		1	1					1	1	1			
	パ ル プ ・ 紙 、 印 刷			4	4			4	4						
	化 学 工 業			15	15			15	15						
	窯 業 土 石 製 品			5	5			4	4		1	1		25.0%	25.0%
	鉄 鋼 ・ 非 鉄 金 属			2	2			5	5		-3	-3		-60.0%	-60.0%
	金 属 製 品			15	15			17	17		-2	-2		-11.8%	-11.8%
	一 般 ・ 電 気 ・ 輸 送 用 機 械			34	34			45	45		-11	-11		-24.4%	-24.4%
	上 記 以 外 の 製 造 業			27	27			18	18		9	9		50.0%	50.0%
2 鉱 業				3	3			4	4		-1	-1		-25.0%	-25.0%
3 建 設 業		1		60	60			68	68	1	-8	-8		-11.8%	-11.8%
	土 木 工 事 業	1		26	26			29	29	1	-3	-3		-10.3%	-10.3%
	建 築 工 事 業			25	25			28	28		-3	-3		-10.7%	-10.7%
	そ の 他 の 建 設 業			9	9			11	11		-2	-2		-18.2%	-18.2%
4 運 輸 交 通 業				78	78	2		72	72	-2	6	6		8.3%	8.3%
	鉄 道 ・ 軌 道 ・ 水 運 ・ 航 空 業 、 旅 客 運 送 業			4	4			7	7		-3	-3		-42.9%	-42.9%
	道 路 貨 物 運 送 業			74	74			65	65		9	9		13.9%	13.9%
	そ の 他 の 運 輸 交 通 業														
5 貨 物 取 扱 業								2	2		-2	-2		-100.0%	-100.0%
6-2 林 業				5	5			9	9		-4	-4		-44.4%	-44.4%
8 商 業		1		137	137	1		95	95		42	42		44.2%	44.2%
	8.2 小 売 業			103	103			65	65		38	38		58.5%	58.5%
9 金 融 ・ 広 告				4	4			6	6		-2	-2		-33.3%	-33.3%
13 保 健 衛 生 業			17	66	83		32	67	99		-1	-16	-46.9%	-1.5%	-16.2%
	13.2 社 会 福 祉 施 設		4	48	52		12	46	58		2	-6	-66.7%	4.4%	-10.3%
14 接 客 娯 楽 業		1		74	74			72	72	1	2	2		2.8%	2.8%
	飲 食 店			23	23			22	22		1	1		4.6%	4.6%
	ゴ ル フ 場			15	15			12	12		3	3		25.0%	25.0%
	上 記 以 外 の 接 客 娯 楽 業	1		36	36			38	38	1	-2	-2		-5.3%	-5.3%
15 清 掃 業				17	17	1		29	29	-1	-12	-12		-41.4%	-41.4%
6-1,7,10,11,12,16,17 上 記 以 外 の 業 種		2		81	81		1	55	56	2	26	25	-100.0%	47.3%	44.6%
6-1 農 業				15	15			11	11		4	4		36.4%	36.4%
7 畜 産 ・ 水 産 業				1	1			1	1						
(参考)第三次産業(8～17号)		4	17	363	380	2	33	312	345	2	51	35	-48.5%	16.4%	10.1%

数字は労働者死傷病報告による件数であり、全体はコロナ、コロナ除くの計であり、死亡は内数である。






令和7年における死亡災害一覧

番号	発生日 発生地	性別	業種 職種	事故の型 起因物	災害の概要
1 甲府	2月25日 山梨市	59 男	商業 フロント	飛来・落下 その他の 一般動力機械	工場内でプレスした廃車を、屋外で自動車専用解体機でトレーラに積み込む作業において、当該自動車専用解体機のつかみ具からプレスした廃車が外れ、周囲で補助作業を行っていた被災者の上に落下した。 
2 都留	2月28日 富士吉田市	29 男	接客娯楽業 整備員	はさまれ・巻き込まれ その他の一般動力機械	施設内に設置された遊戯施設（コースター）の定期点検作業中に車両が動き出し、整備を行っていた被災者が車両とレールの間に挟まれた。 
3 都留	4月6日 大月市	66 男	木製家具製造業 梱包・配達員	墜落・転落 脚立	脚立を用いて、高さ1.4mの位置で資材を棚の上に載せようとしていたところ、脚立から床面に墜落した。 
甲府	4月17日 笛吹市	63 男	建設業 作業員	はさまれ・巻き込まれ 高所作業車	傾斜のある道沿いで高所作業車を使用して樹木を伐採し、次の作業場所に移動するため、高所作業車の後方の操作盤にてアウトリガーを上昇させたところ、車が逸走して被災者が轢かれた。 
5 甲府	6月4日 甲府市	64 男	警備業 警備員	はさまれ・巻き込まれ 移動式クレーン	傾斜のある道路沿いの電線に接触した木の伐採工事で、道路幅が狭く、後ろ向きのまま移動式クレーンを進行したところ、工事現場の警備員が移動式クレーンの走行経路内に立ち入り、車両に轢かれた。 
6 都留	9月25日 大月市	64 男	警備業 誘導員	はさまれ・巻き込まれ トラック	片側1車線の舗装改修工事で、資材運搬を行うトラックがバック走行中、方向転換のため右後方に曲がろうとしたところ、交通整理をしていた誘導員がトラックの走行経路に立ち入り、車両に轢かれた。 

(注) 番号に のついているものは公共工事を示す。
調査結果等により、内容を追加、変更する場合がある。

令和 6 年における死亡災害一覧

【確定値】

番号	発生日 発生地	性別	業 種 職 種	事故の型 起因物	災害の概要
1 甲府	2月2日 中央市	59 男	商業 営業	墜落・転落 作業床・歩み板	<p>事業場倉庫内の高さ約3.5mのラック移動作業において、ラック上部に紐で固定された木製パレットを外そうとして、当該パレットの上に乗る、紐を切ったところ、パレットのバランスが崩れ、パレットごと墜落した。入院して治療を続けていたが、合併症により死亡した。</p> 
2 甲府	5月2日 甲州市	71 男	製造業 製造工	墜落・転落 階段	<p>工場通用口の外階段（平均勾配：44度、蹴上の高さ22～26cm）を上っている時に転落して頭部を打ち、右手首を骨折した。入院して治療を続けていたが、合併症により死亡した。</p> 
3 都留	5月14日 南都留郡 富士河口湖 町	64 男	ビルメン テナンス 業 清掃員	墜落・転落 荷姿のもの	<p>清掃業務の委託を受けた旅館において、ゴミ捨て場に出されていた廃棄予定の布団等を廃棄用コンテナ内に投入する作業を単独で行っていた被災者が、コンテナ内で倒れているところを発見された。</p> 
4 甲府	9月6日 東京都 八王子市	59 男	運送業 運転手	交通事故 トラック	<p>中央自動車道で故障して路肩に停車していた中型トラックに後方から大型トラックが追突した。追突された中型トラックは押されて横転し、停車していた運転手が死亡した。</p> 
5 鯉沢	9月9日 笛吹市	57 男	運送業 運転手	墜落・転落 フォークリフト	<p>パレットを重ねた上に乗る、フォークリフトで持ち上げ、倉庫天井の電球を取り替える作業を行っていたところ、パレットのバランスが崩れ、約8mの高さから墜落した。</p> 
6 甲府	12月17日 中央市	43 男	運送業 運転手	墜落・転落 フォークリフト	<p>物流施設のトラックヤードにおいて、フォークリフトを使用して荷の移動した後、車体を後退させたところ、プラットホーム（高さ約1m）からフォークリフトごと転落し、運転席から投げ出され、車体の下敷きになった。</p> 